

委員各位

一般社団法人 溶接学会
軽構造接合加工研究委員会
委員長 及川初彦
JIW第3委員会
委員長 及川初彦
(公印省略)

開催通知

第112回軽構造接合加工研究委員会を下記の通り開催いたしますので、各位お繰合せの上、ご出席下さいますようにご案内申し上げます。なお、ご出欠は回答欄にご記入の上、e-mail(s_kogure@tt.rim.or.jp)にて、事務局に平成28年1月12日(火)までにお知らせ下さい。

記

1. 日時

平成28年1月19日(火) 10:30～16:45

2. 場所

キャンパス・イノベーションセンター東京 1階 国際会議室 (東京・田町)
(案内図をご参照下さい) 住所:東京都港区芝浦3-3-6

3. テーマ

軽量化技術(新素材、新技術を含む)、高エネルギー密度溶接および高速溶接技術

4. 幹事会のお知らせ

昼食休憩時に幹事会を開催いたしますので、役員および幹事(または代理)の方はご参集下さいますようお願い申し上げます。会場は当日ご案内いたします。

☆出席人数が一事業所2名を越えますときは、3人目から、資料費として1名につき2,000円を納入願います。なお、その場合は、あらかじめ返信メールにてお知らせ下さい。

☆昼食は、各自ご用意下さい。

第112回 軽構造接合加工研究委員会プログラム

－軽量化技術（新素材、新技術を含む）、高エネルギー密度溶接および高速溶接技術－

1. 日 時：平成28年1月19日（火） 10:30～16:45
2. 場 所：キャンパス・イノベーションセンター東京（CIC東京）
3. プログラム（都合により若干変更される場合がありますので、予めご了承をお願い申し上げます）

時 間	題 目	講 演 者
10:30 ～ 11:15	「自動車用アルミニウム材の補修基盤技術に関する試験結果」 (MP-595-2015)	(社)軽金属溶接協会 ○笹部誠二
	補修としての板金加工時の加熱と溶接の各基盤技術に着目し、前者はLPG炎による加熱時の薄板アルミパネル材の熱影響や変形、後者は重ねすみ肉継手における溶接施工性に関する試験結果を報告する。	
11:15 ～ 12:00	「アルミ、アルミ鉄のSPR接合技術の最新動向」 (MP-596-2015)	日本ポプリベットファスナー ○鈴木晴彦
	アルミ、アルミ鉄の SPR 接合技術の最新動向について紹介する。	
12:00～ 13:00	昼食および休憩（幹事会開催）	
13:00～ 13:30	委員会（軽構造接合加工研究委員会・JIW委員会）議事	
13:30 ～ 14:15	「高出力半導体レーザ粉体肉盛装置に関する最新動向」 (MP-597-2015)	丸文(株) ○江嶋 亮
	レーザ粉体肉盛は、粉末材料を用い、材料に対して均質な合金化、母材歪みの少ない肉盛及び肉盛膜厚の制御を可能とします。このプロセスに用いる高出力半導体レーザを中心に、レーザ粉体肉盛装置及びその最新動向について紹介する。	
14:15 ～ 15:00	「粉体レーザ肉盛により形成した硬化層特性」 (MP-598-2015)	神奈川県産業技術センター ○薩田寿隆,高橋和仁 中村紀夫,佐野明彦 住友重機械ハイマテックス(株) 石川毅,越智大介
	高速度工具鋼粉末によるレーザ粉体肉盛について報告する。割れおよびブローホールの発生が無い健全な肉盛層形成条件を示すとともに、肉盛後に行う焼戻しが肉盛層硬さ、曲げ強度、耐摩耗性に及ぼす影響を報告する。	
15:00～ 15:15	休 憩	
15:15 ～ 16:00	「高輝度X線透過装置によるレーザ切断現象のその場観察への取組み」 (MP-599-2015)	三重大学 ○尾崎仁志,川上博士,鈴木実平 大阪大学 川人洋介,片山聖二
	レーザ切断の高速化及び高品質化のためには、レーザ切断の基礎現象の解明が重要である。レーザ切断では、切断フロント近傍で起こる現象が切断品質に影響することが知られている。そこで本研究では、X線透過装置によるレーザ切断中の切断フロントのその場観察を行い、その解明を試みた研究成果について紹介する。	
16:00 ～ 16:45	「X線透視法によるレーザ溶接基礎現象の観察」 (MP-600-2015)	大阪大学 ○川人洋介,片山聖二
	アルミニウム合金およびステンレス鋼の高出力・高輝度レーザ溶接におけるキーホール、湯流れ等の溶接基礎現象に関する三次元X線透視法や大型放射光施設を用いた最新の観察結果について紹介する。	

※○講演者

5.案内図

<キャンパス・イノベーションセンター東京>

東京都港区芝浦3-3-6

JR山手線・京浜東北線 田町駅下車 芝浦口から徒歩1分
都営三田線・浅草線 三田駅下車 A4出口から徒歩5分

